

2021年 1月29日
九州電力送配電株式会社

鹿児島県霧島エリアの電源接続案件一括検討プロセスの開始について

当社は、系統連系希望者から電源接続案件一括検討プロセス開始の申込みを受け、鹿児島県霧島エリアにおいて同プロセス(以下「本プロセス」といいます)を開始いたしました。本プロセスの概要につきましては、別紙をご参照ください。

また、本プロセスの開始に伴い、本プロセスの対象となるエリアの送電系統に対し送電系統の容量を暫定的に確保します。

<暫定的に容量を確保する送電系統>

66kV霧島大霧線

募集対象エリアにおいて、高圧以上の発電設備等の連系等を検討中の系統連系希望者におかれましては、本プロセスへの応募につきましてご検討ください。

本プロセスに応募される場合は、電力広域的運営推進機関の「業務規程第80条の規定に基づく電源接続案件一括検討プロセスの実施に関する手続等について」(以下、一括検討の手続き等)に従って応募してください。

なお、事前相談・接続検討・接続契約の各申込みを行う事業者さま(特別高圧・高圧の送電系統に連系等を希望する事業者さま)については、一括検討の手続き等の「10.3(1)一括検討期間中の系統アクセス関係の申込み」に記載のとおり、原則として、一括検討プロセスが完了し系統状況が確定した後に検討を行います。

九州電力送配電HP : https://www.kyuden.co.jp/td_service_wheeling_diprocess.html

鹿児島県霧島エリアにおける一括検討プロセスの概要

項目	内容	備考
開始情報		
開始理由	指針第120条の4第1項第1号に該当することを確認したため	
開始年月日	2021年1月29日	
募集対象エリア（別紙1-1 別紙1-2）		
募集対象エリア	鹿児島県霧島エリア	
増強内容等（別紙2）		
増強対象設備 ^{（注1）} （全ての系統連系希望者が共用する設備）	66kV 霧島大霧線	
運用容量（増強前）	174MW	
連系可能量（増強前）	0MW	
増強内容 （全ての系統連系希望者が共用する設備）	66kV 送電線 増強 （TACSR610mm ² × 2回線）	
工事費（上記工事費）	約47億円	
運用容量（増強後）	194MW	
連系可能量（増強後）	20MW	

（注1）当該設備以外にも、連系する系統に応じて、対策工事が発生しますので、ご注意ください。

スケジュール

スケジュールは応募の状況等により変更となる場合があります。

年月日	項目
2021年1月29日	・ 本プロセスの開始・公表
2021年2月下旬頃	・ 応募の受付開始
2021年4月下旬頃	・ 応募の受付締切 ・ 応募書類の内容確認
2021年8月中旬頃	・ 接続検討結果の回答
2021年9月中旬頃	・ 再接続検討の受付締切
2021年12月中旬頃	・ 再接続検討結果の回答
2022年1月中旬頃	・ 契約申込みの受付締切 ・ 工事費負担金補償契約の締結
2022年7月中旬頃	・ 技術検討結果の回答
2022年8月中旬頃	・ 工事費負担金契約の締結（連系承諾）
2022年9月中旬頃	・ 工事費負担金の入金
2022年9月中旬頃	・ 本プロセスの完了 ・ 本プロセスの結果公表

(別紙1-1) 募集対象エリア

鹿児島県

市町村	詳細地域
霧島市	【一部】 霧島川北、霧島田口、牧園町上中津川、 牧園町三体堂、牧園町宿窪田、牧園町高 千穂、牧園町万膳、牧園町持松、溝辺町 有川、溝辺町竹子、溝辺町麓、溝辺町三 縄、横川町上ノ、横川町下ノ、横川町中 ノ
始良郡 湧水町	【一部】 稲葉崎、川添、川西、北方、幸田、木場、 田尾原、恒次、鶴丸、中津川、般若寺、 米永
伊佐市	【一部】 菱刈南浦
薩摩郡 さつま町	【一部】 永野



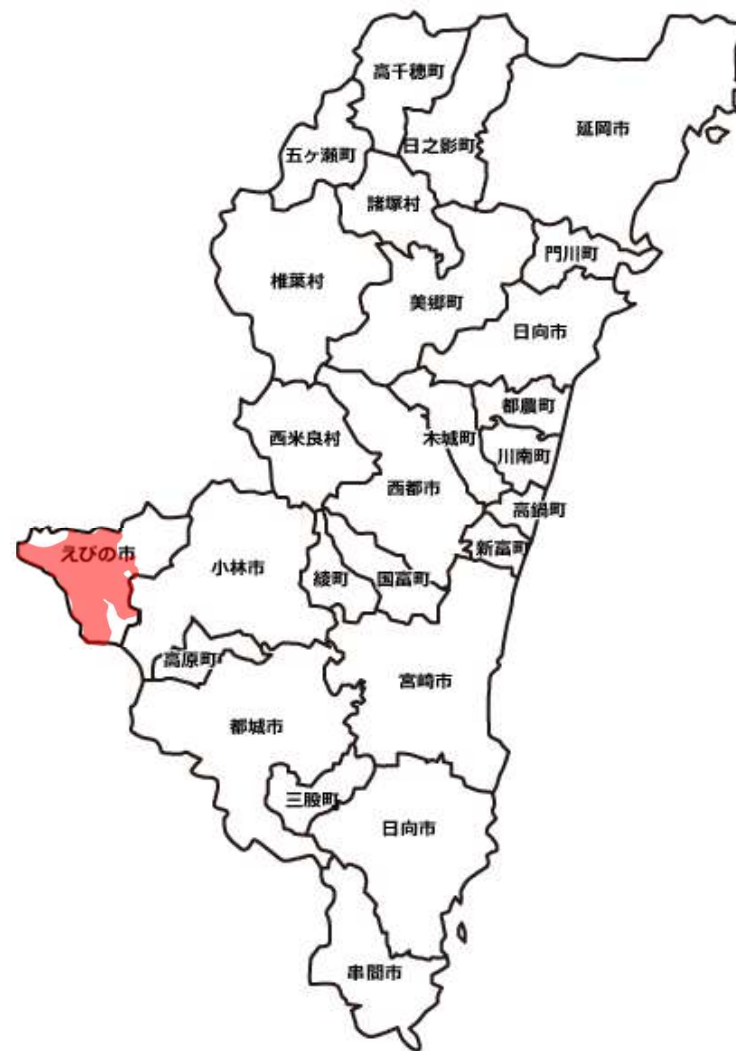
(注) 対象となる市町村および対象エリアの詳細はお問い合わせください。

: 募集対象エリア

(別紙1-2) 募集対象エリア

宮崎県

市町村	詳細地域
えびの市	<p>【一部】</p> <p>池島、今西、内豎、浦、上江、榎田、大河平、岡松、小田、亀沢、栗下、西郷、坂元、島内、昌明寺、末永、杉水流、大明司、水流、永山、西川北、西長江浦、灰塚、原田、東川北、東長江浦、前田、向江、柳水流、湯田</p>

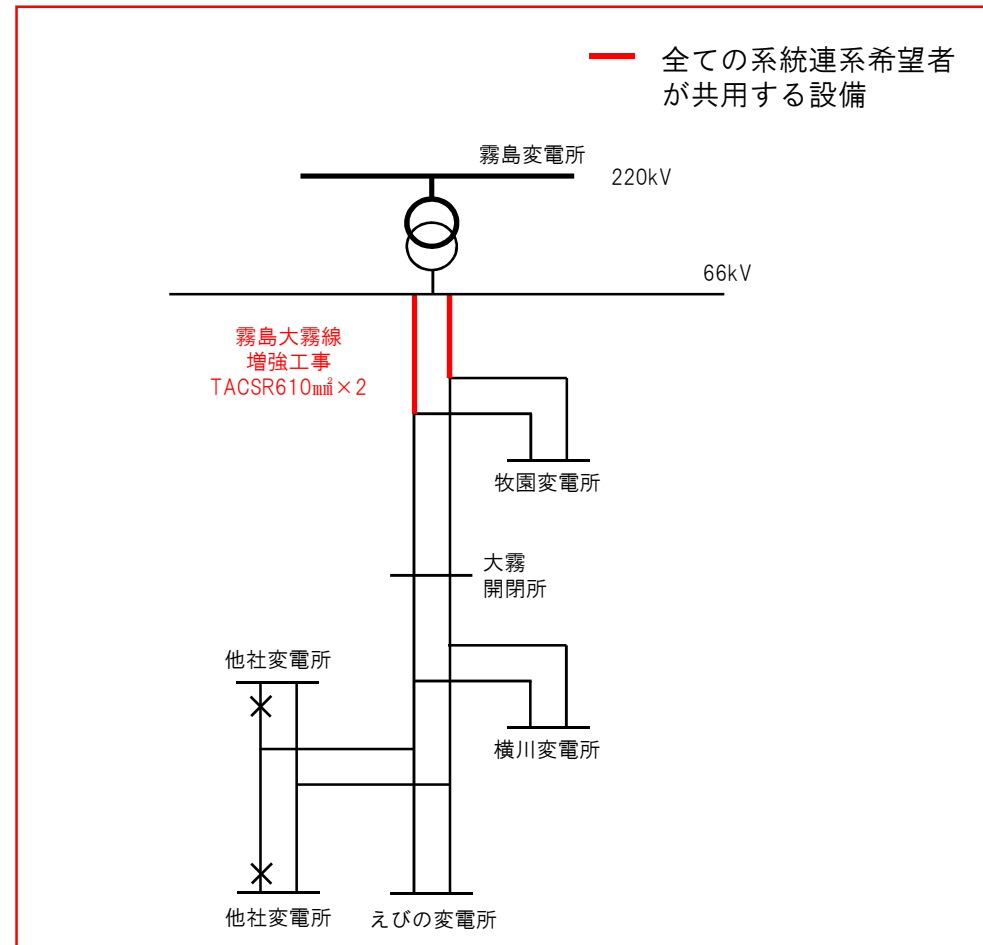


: 募集対象エリア

(注) 対象となる市町村および対象エリアの詳細はお問い合わせください。

(別紙2) 増強内容等

項目	内容
増強対象設備 (注1) (全ての系統連系希望者が共用する設備)	66kV 霧島大霧線
運用容量 (増強前)	174MW
連系可能量 (増強前)	0MW
増強内容 (全ての系統連系希望者が共用する設備)	66kV 送電線 増強 (TACSR610mm ² × 2回線)
工事費 (上記工事費)	約4.7億円
運用容量 (増強後)	194MW
連系可能量 (増強後)	20MW



(注1) 当該設備以外にも、連系する系統に応じて、対策工事が発生しますので、ご注意ください。

留意事項

- 発電設備等の連系等には全ての系統連系希望者が共用する設備以外の対策工事も必要となりますので、全ての系統連系希望者が共用する設備以外の対策工事の工事費負担金や所要工期等にご留意ください。
- 応募状況や応募結果を踏まえた発電設備等の連系等に必要となる対策工事の工事費負担金概算や所要工期等は、接続検討及び再接続検討の回答においてお示しします。
- 本プロセスの開始申込者及び応募者が、電力広域的運営推進機関の送配電等業務指針及び「業務規程第80条の規定に基づく電源接続案件一括検討プロセスの実施に関する手続等について」に違反した場合その他本プロセスの公平性又は透明性を阻害する行為等を行った場合は、当社は、当該系統連系希望者を本プロセスから辞退したものとして取り扱います。なお、辞退したものとして取り扱われる場合、当該系統連系希望者が行った全ての行為(接続検討申込み、応募等)は無効となります。ただし、締結した契約に関わる行為は除きます。